

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			/
会 派 名	無会派	年 度	令和 7 年度
項 目	広報費	金 額	203,500 円
内 容	2025年度市議会報告印刷代及新聞折込代		
支 払 先	関西共同印刷所	支払年月日	令和 7 年 6 月 18 日
備 考	振込手数料 550円		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること。(書類が多い場合は裏面に続く)			

領収証 ^{加古川}市議会議員 橋本和彦 様

金額 円 202,950 -

入金内訳	現金	振込
	小切手	
	手形	

但し 加古川市議会報告 2025年春季号
2025年 6月 18日 上記正に領収いたしました。



株式会社 関西印刷所

本社 大阪市東区西船場15番5号
TEL 06-6611-1188(代)
京都営業所 京都市中京区錦西御院町542
サンフール
TEL 京都(075)211-5941

担当者印



しんきんオンライン ネットキャッシュサービス

取扱票 (ご利用控)

本日はご利用いただきありがとうございました。
ただいまお取引いただきました明細は下記の通りでござい
ます。どうぞお確かめください。

お取引日 取扱金庫 店番・通番

07 06 18 1694022ニ-2617

お取引店 口座番号

お取引金額

お取引内容 お引出

手数料 ¥550 通帳員

時刻 09:31

説明コード

お取引金額
¥202,950

銀行

支店

カ) カンサイキョウトウインサツヨ様

ハシモト カズヒロ様



⊕ 西兵庫信用金庫

加古川市議会報告

2025年 春季号

発行●市議会議員 立花しゅんじ・市議会議員 橋本和彦 加古川市加古川町北在家2000 TEL 079-427-9303

市議会議員

立花しゅんじ

●産業環境常任委員



市議会議員

橋本 和彦

●総務常任委員



市の財政は市民のために活用を

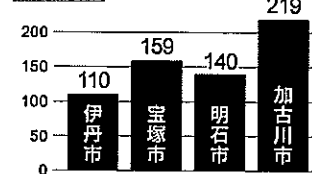
加古川市政の基本的な目的は法律で定めたとおり市民の福祉の増進です。ところが、市民の願いと下記のような乖離があり、一般会計予算案について反対討論を行いました。

- 旧卸売市場などの大切な市民の財産が売却対象になっているが、跡地に介護施設や歴史資料館・博物館を作してほしいこと
- 正規職員の削減が官製ワーキングプアや災害時の職員不足で支援体制に不備
- 公共施設の管理運営の民間委託は企業利益優先で指定管理期間が長期化
- コンパクトシティ計画で加古川駅周辺再整備計画が進められているが基本設計策定等業務の事業者募集は情報公開が不十分
- 近隣市と比べて基金が過剰に蓄積されていて高齢者向け支援、生活保護や就学援助がおざなり

- 小学校の職業紹介イベントで自衛隊員による体験学習が行われていること
- カジノ誘致と関連し、メタンガスの発生等で危険な万博への児童生徒の参加の是非
- 連合メーダーに負担金を出しているが全労連系メーダーへは「政権批判をしているから」として支給せず、近代民主主義の原則に反する

これらの問題点を指摘して、是正すべきだと予算案に反対しました。

基金残高 (億円)



なぜ播磨臨海地域道路建設に反対するの？

- *地域経済の成長が望める
- *雇用の促進・地域観光の拡大
- *国道2号線バイパス・250号線での渋滞緩和
- *大阪・姫路間への通過時間短縮
- *田畑などの土地の売却活用(高齢による後継者不足)
- *自分が生きている間にはできないので関心ない
- *地域的に関わっていない、海岸線での問題

このような意見を耳にしますが、考えてみる必要があるのではないのでしょうか？

35キロの高規格道路、インターチェンジは製造業付近にあり、荷物の積み下ろし時に利用されるだけで道路へ乗り入れ、雇用の拡大に影響はあるのでしょうか？

渋滞問題でもドライバー問題・輸送形態の変更で解消方法として、通勤でも公共交通利用で乗用車利用台数を減らしCO2量削減排出など環境保全も考える必要を感じませんか？

大阪・関西万博での工事費でも計画当初の2倍程度の税金投入(国・府・市・企業負担)が予想されてい

ます。5900億円が20年近く前に予算化されていますが、当初予算から増えることはないのでしょうか？

海岸線は軟弱地盤と言われています。南海トラフなど自然に対する問題も、加古川での橋脚建設で生き物への影響、コウノトリの飛来も確認されているにも拘らず影響は大きいのではないのでしょうか？

今、コメ・野菜不足が問題になっています。農家・酪農家への減反強要や作物変更・肥料飼料への補助など支援施策の誤りによって生計が保てなくなり、後継者に託せなくなってきたのではないのでしょうか？

皆様のご意見などをお寄せください。

選択的夫婦別姓制度の実現を

今年2025年は日本が女性差別撤廃条約を批准して40年の節目の年です。法務省の諮問機関である法制審議会が選択的夫婦別姓制度導入などの民法改正案を答申してから29年も経過しました。

国連女性差別撤廃委員会が昨年秋、8年ぶりに日本政府のジェンダー平等の取り組みを審査し、日本政府に4度目の改善勧告を出されました。名前は個人の尊厳の基盤であり、日本は実質的平等が実現していないと言われています。夫婦別姓を認めない民法や戸籍法の規定は、憲法違反との運動へと盛り上がっています。しかし、残念なことに日本社会の到達は、ジェンダーギャップ指数ランキング「146か国中118位」という位置が示

すように、国際社会の進展から大きく遅れたままです。

現行の夫婦同姓制度は、名字を変えたくない人が婚姻に際して改姓を強制され、不合理な二者択一を迫るものではないのでしょうか。

では、なぜ選択的と添えているのでしょうか、強制されるものではないため夫婦同姓が良いのであれば同姓を選べば良いだけの問題です。

また、親と異なる姓を名乗る子どもがかわいそうだと決めつけるのも偏見ではないのでしょうか。諸外国では、父の姓・母の姓などの複合姓を採用している国も多くあります。夫婦同姓を法律で義務付けているのは世界で日本ただ一国だけです。

○賛成 ×反対

請願内容	立花しゅんじ	橋本和彦	創生加古川	公明党議員団	かこがわ市民クラブ	加古川維新の会	かこがわ未来の会	結果
「選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書」の提出を求める請願書	○	○	×	○	○	×	×	不採択

播磨臨海地域道路は 本当に必要か？

市長は2025年度施政方針で、「住み慣れた地域で安全に、安心して暮らし続けられるよう云々」と話されています。また「加古川ならではの魅力づくり」の中でも身近な自然を生かした魅力づくりと1番目に述べられています。

近年では神戸製鋼北側の木に野鳥が飛来したり、北別府の皿池にもコウノトリの飛来が確認されています。また、1級河川加古川には新たに道路建設のための橋脚が組まれ、流れが変わることにより、生き物の生態変化が起きるといわれています。町内コミュニティー問題でも、住み慣れた地域で安全に安心して暮らし、自然を守るという施政方針演説でした。施政方針と道路建設を行うことによる自然破壊への矛盾はどの様にお考えなのでしょうか。安住の地とし今更環境の変化を求めない高齢者についても、個人で土地の購入や建物まで探せとは住民感覚とかけ離れていると言わざるを得ません。

地球温暖化など環境問題でも道路建設による影響は、セメント産業では国内で4,147万トン(2019年)ものCO2を排出しています。コンクリートは主原料であるセメントに、砂利や碎石などの骨材と水などで製造されます。このように地球温暖化がいわれているのに、加古川市として道路建設をまだ進めようとするのでしょうか。車の輸送より公共交通や海上輸送への転換への考えを示すべきです。

このような状況で高齢者が健康で安心して暮らすことができるでしょうか。税金の使われ方も市民に分かりやすく知らせることが大事です。市としてのお考えをお聞かせください。

政治への関心と 投票率を上げるために

18歳になると選挙権が与えられみんなの代表を選挙で選ぶ権利を得ます。選挙権は憲法の最も基本的な原則であり民主権に基礎を置くものです。ところが70か所ある投票所のうち、入り口に段差があったり常設のスロープがないなど、足の不自由な方に対して職員による介助が必要な投票所が6か所、土足不可が21か所あります。誰もが投票しやすい投票所の環境整備が必要です。

また、昨年の衆議院選挙での20～24歳代の投票率が24～30%にとどまっており、若者世代の投票率を上げるための取り組みが必要と思いますが、どのように整備されるのか教えてください。

返答 高等学校への協力をお願いをしている、期日前投票所の学校体育館の利用や立ち合い経験などで興味を持ってもらう取り組みを計画している。



市民の願いに 寄り添った 加古川に

危険な大阪・関西万博 子どもを強制動員するな

夢洲は廃棄物の埋立地で現在も地盤沈下や液状化のリスクがあります。ガスが発生し、過去には爆発事故も起きて、安全性や熱中症も懸念されます。子どもの参加「要請」が事実上の「強制」となることや万博後のカジノ開発などとの関連を疑問視する声があり、参加予定状況と加古川市としての考え方を質問しました。小学校1、中学校5、義務教育学校1、計7校が予定していると回答がありましたが、あくまでも学校の事業であるので学校長の裁量で行われているとの答弁に留まりました。



自衛隊と 学校教育について

小学6年生の教育課程等で職業を学ぶなどを名目に自衛隊員が紹介されていることから軍事の正当化や戦争容認につながる懸念の声もあり、市の所見を求めました。この2年間に9校で実施されているが、内容は救命・非常食・防災についての説明であり、問題ないと回答しました。国会で制服組は答弁できないこと、子どもの権利条約に違反し、戦前の歴史的教訓に学ぶべきことを指摘しました。



公共施設のトイレの管理と 改修状況

小柳公園のトイレは施錠されているところがあり使用できない、公園のトイレをきれいにしてほしいという要望を受けて実情を尋ね、改修を求めました。加古川市では都市公園が378か所ありますが、公衆トイレは52か所で、市が36か所管理し、16か所を町内会等に管理委託しています。現在、小中学校のトイレ改修を進めており、2025年2月87.1%の到達で2026年3月完了予定。今後、浜の宮公園や志方東公園での整備を予定していると回答がありました。



令和7年第2回 加古川市議会(定例会) 日程(案)

6/3(火)	全議案上程(質疑、付託)、一般質問	第1日
4(水)	一般質問	第2日
5(木)	一般質問	第3日

6(金)	総務常任委員会	休会
9(月)	福祉教育常任委員会	休会
10(火)	産業環境常任委員会	休会

17(火)	委員会審査報告(質疑、討論、採決) 追加議案上程(即決)	第4日
-------	---------------------------------	-----

【 請願の締め切りは5月22日(木)です 】

議案は市HPにも掲載されます。議会・委員会は9:30開会予定です。